

# 浸水被害ゼロに向けて!

都市型水害から、まちの安全を守るために  
万全の対策を進めています

## 善福寺川上流部に大規模調節池を新たに整備

総容量約30万トンの地下トンネル式の調節池が、新たに、善福寺川上流部へ設置される予定となりました。東京都では、杉並区立関根文化

公園や都立善福寺川緑地、青梅街道の地下などを活用することを検討しており、今年度、その基本設計の策定に着手します。

## 台風19号の時も効果を発揮した調節池

豪雨時に河川の氾濫を防ぐ施設として、調節池が有効です。大雨が降り、川の水位が上昇した際に、水の一部を一時的にためることで、川の水量を減らす人工の池です。地形に応じて掘込式や、地下トンネル式などが採用されます。



### 【これまでに整備された主な事業】

- 善福寺川調節池の設置(約3万5千トン)
- 阿佐ヶ谷駅中杉通り地下に雨水貯留管の設置(約2千4百トン)
- 荻窪2丁目付近地下に下水貯留管の設置(約2千2百トン)
- 善福寺2丁目・上荻4丁目流域合流改善貯留施設

## 「もう二度と、あのような被害は起こしたくない」

公明党杉並総支部長／都議会議員 まつば多美子

忘れもしない2005年9月4日、区内で1時間112ミリという、都の観測史上最多となる大雨により善福寺川等が氾濫。区内で約2000棟もの浸水被害が発生しました。この時、私は真っ先に現場に駆け付け、夜通し住民の救援や被害状況の掌握に努めました。その後、都議会において、水害対策の強化を全力で訴え続けてきました。

あれから16年が経ち、区内を流れる各河川においては、調節池や護岸整備等、水害対策は着実に進み、災害情報システムや河川カメラ等、ソフト面での取組も充実してきました。工事に際し、ご理解ご協力をいただいた皆様に心より感謝申し上げます。

これからも「浸水被害ゼロ」を断固成し遂げるとの決意で、水害対策の強化に、よりいっそう尽力してまいります。



## 河川監視映像のリアルタイム化が実現!

ゲリラ豪雨時には、短時間で河川の水位が上昇するため、河川のライブ映像動画の配信は、住民の速やかな水害対応や避難行動に効果的です。区議会公明党はカメラ設置段階から要望してまいりましたが、今回、IoT化した街路灯に河川監視カメラを設置し、リアルタイムで河川映像が配信されることとなりました。加えて、水害発生箇所に冠水センサーを設置し、道路冠水状況を監視することにより、迅速な水防対策の実施につなげていきます。



河川監視カメラ

道路冠水センサー

### 河川等監視カメラ設置位置図(予定)



## 杉並区内に整備される貯留施設等

今後の水害対策として、神田川では下高井戸おおぞら公園の敷地東側部分に約3万トン、善福寺川では護岸整備の他、和田堀公園内(大宮1丁目)に

約1万7千5百トンの調節地を整備中です。さらには、阿佐ヶ谷地域で第二桃園川幹線の整備を進めています。



下高井戸調節池 / 完成イメージ図



和田堀公園調節池 / 完成イメージ図